

「安全活動」について



株式会社 **AI Co.メンテック**
千葉県知事許可（般-14）第 40506 号

自分や部下、同僚、仲間に絶対に「血」を流させない！ ～ 今日一日、安全に仕事をして帰ろう！ ～

「安全活動」に対する考え方

“何故、我々は働いているのか？…”

それは、自分や自分の家族の『幸せ』のためである。そのために、毎日汗水流して働いている。その『幸せ』のために働いている仕事において、**自分がケガをして自分や自分の家族が『不幸』になることは絶対にあってはならない。**

治るケガならまだいいが、「指を失くす」「腕を失くす」「失明する」… 最悪のケースである「命を失くす」…**取り返しのつかないケガは絶対にダメ！** ケガをした自分もそうだが、家族までもがみんな『不幸』になってしまう。一生そのケガを背負って生きていくことになる。

だから、我々はケガをしない(災害を起こさない)ように安全活動をするのだ。自分や自分の部下・同僚・仲間が絶対ケガをしない(災害を起こさない)ように、安全活動をするのである。会社がやれ！というから、嫌々ながらもしょうがないと渋々やる活動ではない。**自分たちの『幸せ』を守るための活動**なのである。その事をもう一度再認識しよう！

「ルール遵守」の大切さ・大事さ～

2018年11月19日、JFE-S京浜地区にて重大災害が発生した。玉掛け作業時に、約1.6tのロールフレームが傾き腹部を挟まれた。この時、「製鉄所内の我々の仕事は、本当に**多くの危険と隣り合わせで日々仕事をしている**」ということ、改めて強く思い知らされた。

高温溶融物・玉掛け(重量物)・高所・ガス・酸欠・感電等の様々な危険が製鉄所の内にはあるが、これらの危険を回避し安全に仕事ができるようにしているのが「ルール」である。このルールを守ってさえいれば、**ルールが我々を災害から守ってくれる**。先人達の失敗により決められた**「ルール」の大切さ・大事さ**がよく分る。だから我々は、このような悲しく・痛ましい事故を二度と起こさないように、基本(ルール)の徹底に全員が本気で取り組む必要がある。何も難しいことではない。**「基本(ルール)の遵守」**である。

一日一日、無事仕事を終え家に帰るといふ日常が、ある日突然叶わなくなった人がいた…というとても悲しい事案を二度と起こさないため、「今日一日、安全に仕事をして帰ろう！」の意味をもう一度噛み締めてほしい。

「相互注意」のアルファ・メンテック

仕事に熱中していたり、うっかり思い込んでしまうと、周りの危険に気が付かなかったり、ついつい無理な行動をすることがよくある。このような時に、周りの者がちょっと声を掛けて気づかせることによって、災害を防止できる。

たとえば、①ハンマーを振るときに周りの作業者に「これからハンマーを振るから、その場所から離れてくれないか・・・」と声を掛けて退避を促すのも、人の安全を思いやる相互注意である。また、②重い油圧シリンダーを無理して手で運ぼうとしている者がいれば、手押し車を持ってきて「腰を痛めるからこの台車を使いな・・・」と言って、無理な運搬をやめさせるのも、人の安全を思いやる相互注意である。③玉掛作業中に、玉掛ワイヤーを手で握ったままワイヤーを緊張させているところを見つけて、「ちょっと待って！」と注意して巻上げを止めさせることも、人の安全を思いやる相互注意である。

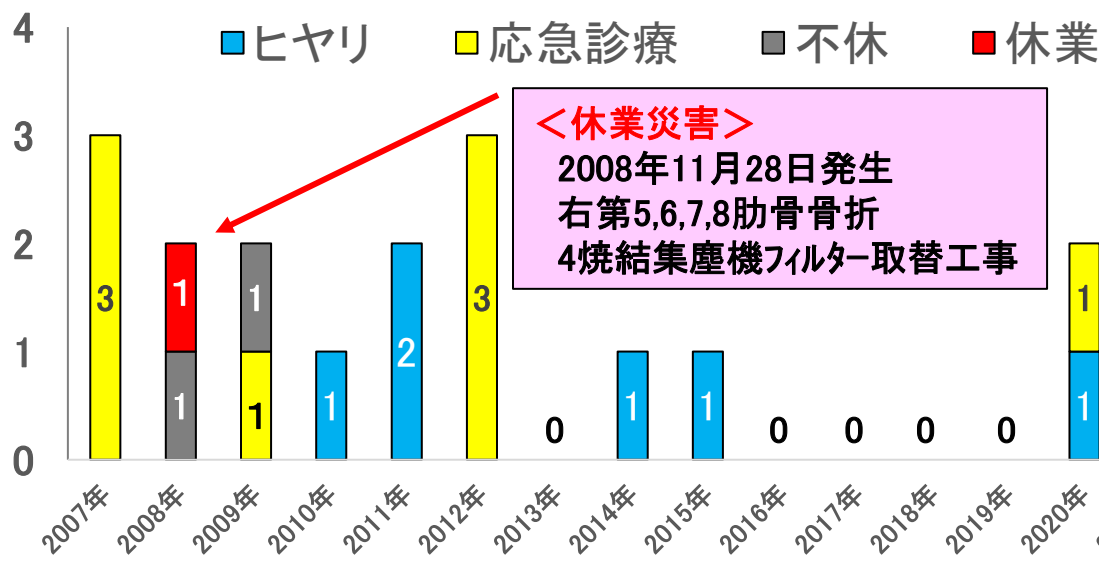
相互注意は、人の安全を思いやる究極の取り組みであるが、一朝一夕にできるものではない。相互注意を職場に定着させるためには、仲間同士が気軽に声を掛けられて、気持ちよく受け入れられる、そのような雰囲気を持った安全意識の高い職場を作っていく必要がある。

無災害記録「5,000日」達成！

当社は、2008年11月28日に発生した休業災害以降**13年以上にも渡って休業災害ゼロを継続し、2022年 8月8日に無災害記録「5,000日」を達成**することが出来た。

これは本当に素晴らしい記録で、皆さんの日々の安全に対する努力の成果である。この記録を更に一日一日積み重ねて行き、「**災害ゼロのアルファ・メンテック**」と言われるように全員の力で、**相互注意**により災害の未然防止ができる職場を作って行こう！

(災害件数)



無災害記録 : 5,000日
(8/8 達成)

<ヒヤリ>
2022年 7月 5日発生
熱中症の疑い
エネルギー27酸素貯槽開放検査

<ヒヤリ>
12月20日発生
急性腰痛症

1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月
<2022年>

自分や部下、同僚、仲間に絶対に「血」を流させない！

～ 今日一日、安全に仕事をして帰ろう！ ～